

シラバス

令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	<u>基礎分野</u>	専門基礎分野	専門分野
科目名 保健体育		講師名 菅原 めぐみ		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
令和5年度後期	15時間／1単位／16回		講義・ <u>実技</u> ・実習・演習	
授業概要 (目的)	心と体の健康を維持増進するために必要な知識や運動動作を習得する。また、実際に体を動かす事でスポーツの楽しさやリラックス効果を実感する。実生活と照らし合いながら健康を自ら考え、自分だけでなく他者の生命や健康に対しても適切に意思決定、行動選択を行うようになることを目的とする。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツの楽しさやリラックス効果を実感する 2. 自身の健康維持増のための知識や運動動作を習得する 3. スポーツや運動のルール、やり方を熟知し実践し、他者へ伝えることができる。 4. 救急法（救急救命法）並びに救急搬送や手当の基本を理解し、実践出来るようにする 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボールや用具を用いたスポレクを中心とした運動。 ・ グループに分かれて運動指導（指導案の作成から指導実施、実施後評価、反省会）を行う。 ・ 障害者スポーツに触れる。 		怪我無く、スポーツや運動を楽しむこと。 運動の指導を行うことを体験する。	
成績評価の方法 ・出席、授業への取り組み意欲や態度を参考に評価を行う。		テキスト・教材・参考書 特になし		
担当教員の実務経験の有無 <u>有</u> ・ 無				
実務経験の内容 保健体育教諭として専門学校での実務経験あり				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 <p style="text-align: center;">基礎運動学</p>		講師名 <p style="text-align: center;">清水茂幸</p>	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1年次・後期	30時間／1単位／15回	講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	人間の身体運動を、解剖学をベースに学び、専門基礎分野につなげる。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体の運動の正しいメカニズムを理解すること。 2. 基礎用語をしっかりと理解すること。 3. 関節と筋肉の動き、負荷、重心の移動、身体のバランスについて理解すること。 		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	<p>運動学の基礎 (関節と運動の力学、姿勢とその異常、運動路と感覚路、反射と随意運動)</p> <p>身体運動の機能 (脊柱・体幹の機能、肩甲帯・肩の機能、肘と前腕の機能、手と手指の機能、骨盤と股関節の機能、膝関節の機能、足の機能、正常歩行と異常歩行、顔面および頭部の筋)</p> <p>などの内容を学び、正常時の身体の機能について理解する。</p>	<p>知識に関して: 関節に正しい動作とそれを支える筋肉の働きについて説明できる。</p> <p>態度に関して: 正しい動作を自分自身で行うことができる。</p> <p>技能に関して: 身体の正しい動作を理解した上で治療を行う力を身につける。</p>	
中間試験及び期末試験の結果を基に、出席状況、出席態度を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 リハビリテーション医学 (第4版)	
担当教員の実務経験の有無		有	無
実務経験の内容			

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼 灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目 英 語		講師名 関井 純子		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1 年次・前期	3 0 時間／ 2 単位／ 1 5 回		講義・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	外国人患者に対して適切な対応ができる英会話の技能を身に着ける			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 鍼灸師として必要な語句や表現を理解して使えるようにする 2. 積極的に英語を学ぶ意欲を持つ 3. 日常英会話に慣れ親しむ 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受付で使う表現 (予約時間、名前、生年月日、職業、国籍など) 2. 問診で使う表現 (症状、痛みの種類、期間、アレルギーなど) 3. 施術時に使う表現 (動作の指示や説明) 4. 施術後に使う表現 (会計や次回の予約など) 5. 日常会話の練習 (あいさつ、ホテルで、日本食の紹介など) 		音読練習、ロールプレイ	
成績評価の方法 授業内に行う筆記テストと定期テストの合計点数 により評価する		テキスト・教材・参考書 自作プリント		
担当教員の実務経験の有無 有 ・ 無				
実務経験の内容				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸 学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 生命科学 I		講師名 高島 浩一郎	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3 年次・通年	60 時間／4 単位／30 回	講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	身体の一部の働きと仕組みを学ぶことにより、専門教科の理解が進み、国試問題の多くを解くことができ、患者の診療や治療の際に科学的に考えるようになることが期待される。		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生理学の各章の要点を理解し、患者さんに簡単に説明できる。 2. 生理学に関する基本的な国試問題を解けるようになる。 3. 		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	前期第 1 回～第 5 回—循環や呼吸などの章の要点を扱う。 第 6 回～第 10 回—消化、排泄などの章の要点を扱う。 第 11 回～第 13 回—内分泌、生殖の章の要点を扱う。 第 14 回～後期第 2 回—神経系の章の要点を扱う。 第 3 回～第 4 回—運動の章の要点を扱う。 第 5 回～第 6 回—感覚の章の要点を扱う。 第 7 回—防御、調節の章の要点を扱う。 第 8 回—基礎、血液、循環 1 関連の問題を扱う。 第 9 回—循環 2、呼吸関連の問題を扱う。 第 10 回—消化、代謝、体温 1 関連の問題を扱う。 第 11 回—体温 2、排泄、内分泌 1 関連の問題を扱う。 第 12 回—内分泌 2、生殖関連の問題を扱う。 第 13 回—神経関連の問題を扱う。 第 14 回—自律神経、筋、運動、感覚 1 関連の問題を扱う。 第 15 回—感覚 2、防御、調節関連の問題を扱う。	講義や筆記試験、ドリル・レポートなどを行う予定である。単なる語句の丸暗記ではなく、身体の働きと仕組みを 深く理解 することが大切である。自分の言葉でノートにまとめたり、他人に説明できたり、問題が解けたりすれば、理解できたと言える。何回試みても 理解できない事柄は、より基本となることを学ぶ必要がある。理解は少しずつしか深まらない。 出てきた語句の意味、中学・高校の理科で習うことなど、これまでよくわかっていなかった基礎的なことを、人に聞いたり、調べたりして、理解して欲しい。	
成績評価の方法 試験の結果を主に、ドリル点を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 生理学（医歯薬出版）を教科書とし、手製プリントを参考資料として配布する。	
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無	
実務経験の内容			

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸学科		基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 生命科学Ⅱ		講師名 小野寺 悟		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法		
前期	30時間/ 1単位/15回	講義・実技・実習・演習		
授業概要 (目的)	国家試験問題を解くための基礎力を強化する事を目的とする。			
目標	1. 過去問の答えの暗記ではなく、考えて解く技術を身に付ける。 2. ①予習 ②授業 ③毎回の小テストのための復習 ④定期試験と繰り返しの学習によって基礎力を強化する			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	1回 細胞 2回 組織 3回 心臓 4回 リンパ系 5回 呼吸器系 6回 消化器系(1) 7回 消化器系(2) 8回 中間試験解説授業 9回 泌尿器系・男性生殖器 10回 女性生殖器・受精と発生 11回 内分泌系・神経系総論 12回 脊髄・脳幹・小脳・間脳 13回 大脳・脳室・髄膜・伝導路 14回 末梢神経系 15回 特殊感覚 16回 期末試験解説授業		講義	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に、毎回の小テスト、出席状況、授業態度を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 解剖学 第2版 医歯薬出版 ほか毎回講義内容のプリントを配布する。		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 コミュニケーション学		講師名 藤井知弘		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
令和 5 年度後期	90 時間／1 単位／15 回		講義・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	人とのコミュニケーションがどのように成立するかについての基礎理論を元に国語力を培い、社会に参加するために必要な「ことばの力」を身に付けることを目的とする。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 知識：社会生活に必要な語句・語彙力・表現力を身に付けることができる 2. 態度：コミュニケーションに必要な話す・聞く態度を身に付けうるすることができる 3. 技能：自分の言葉で考えたことを表現することができる 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションの課題 ○これから求められる国語力 ○言語活動としての対話 ○話し合い活動の課題 ○論理的思考力と説明力 ○声の表現力 音読と朗読 ○演劇、演芸におけるコミュニケーション ○スピーチ実技 ○プレゼンテーション実技 ○ディスカッション実技 		<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・講義 ・講義／演習 ・講義／演習 ・講義 ・演習 ・演習 ・実技 ・実技 ・実技 	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書		
<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容についてのポートフォリオ ・プレゼン、スピーチなどの実技評価 ・ペーパーテスト 		特になし		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容				
小学校教員、大学教員(国語科教育学担当)				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼 灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 解剖学 I		講師名 設楽 雄介		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1 年次 前期	6 0 時間／2 単位／3 0 回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	人体の構成、骨格、筋肉と支配神経、関連する脈管系の基本構造を理解し、臨床疾患を理解する基礎形成を目指す。			
目標	人体各部の名称と位置について基礎知識を習得する。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	人体の構成、解剖学的用語 骨格系 <ol style="list-style-type: none"> 1. 骨格系総論 2. 脊柱 3. 胸郭 4. 上肢の骨格 5. 下肢の骨格 6. 頭蓋骨 7. 関節 筋系 <ol style="list-style-type: none"> 1. 筋系総論 2. 体幹の筋 3. 上肢・下肢の筋 4. 頭頸部の筋 			・教科書内容に基づき講義を行い、不足分は別途資料を配布する。
成績評価の方法 定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 解剖生理（医歯薬出版） 適宜プリントを配布する。		
担当教員の実務経験の有無		有	・ 無	
実務経験の内容 教員養成施設附属施術所 2 年、鍼灸接骨院 2 年（以上兼務） 開業 2 年、本校付属鍼灸院 1 0 年				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 解剖学Ⅱ		講師名 設楽 雄介		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1年次 後期	60時間／2単位／30回		講義・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	人体を構成する呼吸器、生殖器、内分泌、泌尿器、循環器、消化器の基本構造を理解する。その働きと臨床疾患を理解する基礎の形成を目指す。			
目標	人体各部の名称と位置について基礎知識を習得する。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	以下の各項目を修得する。 ・呼吸器 ・生殖器 ・内分泌 ・泌尿器 ・循環器 ・消化器 (肝臓、胆嚢、膵臓含む)		・教科書内容に基づき講義を行い、不足分は別途資料を配布する。	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 解剖生理 (医歯薬出版) 適宜プリントを配布する。		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容 教員養成施設附属施術所 2年、鍼灸接骨院 2年 (以上兼務) 開業 2年、本校付属鍼灸院 10年				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 解剖学Ⅲ		講師名 設楽 雄介		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2年次 通年	60時間／2単位／30回		講義・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	人体を構成する泌尿器、生殖器、感覚器の基本構造を理解する。 局所解剖部分では重要個所をより詳細に学び臨床の基礎知識とする。			
目標	人体各部の名称と位置について基礎知識を習得する。 局所解剖部分で重要個所を学ぶ。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	以下の各項目を修得する。 ・泌尿器 ・生殖器（受精、発生含む） ・感覚器（特殊感覚器含む） ・局所解剖 体腔の概要 頭蓋腔 胸郭（縦隔と横隔膜含む） 腹腔 骨盤腔 胸背部の体表解剖（腋窩、鎖骨窩含む） 上肢、下肢の体表解剖（手根管、兎径部含む） 頭頸部の三角について		・教科書内容に基づき講義を行い、不足分は別途資料を配布する。	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 解剖生理（医歯薬出版） 適宜プリントを配布する。		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容 教員養成施設附属施術所 2年、鍼灸接骨院 2年（以上兼務） 開業 2年、本校付属鍼灸院 10年				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸学科		基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 解剖学Ⅳ		講師名 柿坂 昌美		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法		
3年次・前期	30時間／1単位／15回	講義・実技・実習・演習		
授業概要 (目的)	身体の構造を再度確認し、国家試験に対応できる知識を身に付ける。			
目標	各章の重要ポイントを国家試験に対応した演習問題を解くことができる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	1. 骨・筋 復習問題・解答 2. 骨・筋 復習問題・解答 3. 運動器系 骨の連結・関節の種類、脊柱 4. 運動器系 上肢の骨格 5. 運動器系 下肢の骨格、頭蓋骨 6. 運動器系 骨全般問題演習 7. 運動器系 骨全般問題、中間試験対策 8. 全期中間試験復習、解説 9. 運動器系 体幹の筋 10. 運動器系 上肢の筋 11. 運動器系 下肢の筋. 12. 運動器系 頭頸部の筋 13. 運動器系 骨・筋まとめ 復習 14. 運動器系 骨・筋まとめ 復習 15. 運動器系 骨・筋まとめ 復習			
成績評価の方法 定期試験			テキスト・教材・参考書 解剖学(第2版)まとめプリント 演習問題プリント	
担当教員の実務経験の有無	有	・	無	
実務経験の内容				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 <p style="text-align: center;">生理学 I</p>		講師名 <p style="text-align: center;">佐々木 香奈</p>		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1 年次	60 時間・2 単位・30 回		講義・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	人体を構成する各器官系の働きや仕組みを理解し、正常な人体機能（生命活動）の理解を深めることを目的とする。			
目標	人体の各機能について基礎的知識を習得し、主要な機能について説明できる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	生理学 1. 消化と吸収 2. 代謝 3. 体温 4. 内分泌 5. 生殖・成長と老化 について学ぶ。		<input type="checkbox"/> プリントを使用して講義を行なう。 <input type="checkbox"/> 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法 定期試験の成績を最重視し評価する。		テキスト・教材・参考書 解剖生理学教科書、作成したプリント		
担当教員の実務経験の有無		有	・	無
実務経験の内容 北東北東洋医療専門学校、盛岡看護医療大学校の附属鍼灸院で23年間勤務した経験有り。				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 生理学Ⅱ		講師名 加納 舞		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1 年次・通年	60 時間／2 単位／30 回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	人体を構成する各器官系の働きや仕組みを理解し、正常な人体機能（生命活動）の理解を深めることを目的とする。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体の各機能について基礎的知識を習得する。 2. 主要な人体の正常機能について説明できる。 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生理学とは 2. 生理学の基礎 細胞の構造と機能，物質代謝・体液組成 3. 循環 血液の組成と働き，止血機構，血液型，血管 心臓の構造と働き，血液・リンパ循環 4. 生体の防御機構 白血球の働き，自然免疫と獲得免疫，液性因子 液性免疫と細胞性免疫 5. 呼吸 呼吸器の概要，換気とガス交換，呼吸運動 呼吸調節 6. 排泄 腎臓の働き，体液の調節，腎循環，尿の生成 腎臓と体液の調節，蓄尿と排尿 		<ul style="list-style-type: none"> • プリントを基に，スライドにて講義を進める。 • 授業開始前に前回授業の確認テストを実施する。 (Google form 使用) • 授業内容の予習・復習に，オンデマンド生理学動画 (Google classroom) を積極的に使用して理解を深めること。 	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に，出席状況，授業態度，課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 解剖生理（医歯薬出版） 適宜プリントを配布する。		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容 大学附属鍼灸センター 2 年，介護施設 2 年，開業（出張） 2 年（以上兼務） 本校附属鍼灸院 4 年				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 生理学Ⅲ		講師名 三條敏也		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2年次・通年	60時間／2単位／30回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	人体を構成する各器官系について基礎知識を習得し、生理学的機能を理解する。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生理学の重要用語について説明できる。 2. 教科書中の主要な図について説明できる。 3. 教科書中の主要な表について説明できる。 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	教科書の各章のうち、神経系（脊髄神経、脳神経、自律神経など）、筋肉（骨格筋線維、筋小胞体など）、運動調節（運動単位、筋紡錘、下行性伝導路など）、感覚（体性感覚、上行性伝導路、内臓感覚、特殊感覚など）、生体防御（自然免疫、細胞性免疫、液性免疫など）、バイオリズム（日内リズム）。		講義	
成績評価の方法 筆記試験に基づいて評価する。出席状況、課題レポートなどを加味する。		テキスト・教材・参考書 解剖生理、東洋療法学校協会編、内田さえ 他著、 医歯薬出版		
担当教員の実務経験の有無		有	・ 無	
実務経験の内容 専門学校での指導経験等の実務経験あり。				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 生理学Ⅳ		講師名 加納 舞		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
3年次・前期	30時間／1単位／15回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	演習問題を通して、人体を構成する各器官系の働きや仕組みを理解し、正常な人体機能（生命活動）の理解を深めることを目的とする。			
目標	1. 人体の各機能について基礎的知識を習得し、主要な機能について説明できる。 2. 生理学の知識をはりきゅう理論，臨床医学各論，東洋医学臨床論に応用できる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	7. 神経 <ul style="list-style-type: none"> • ニューロンの構造・電位・伝導 • 神経線維・シナプス伝達 • 中枢神経系の働き • 自律神経系の働き 8. 筋 <ul style="list-style-type: none"> • 筋の構造，横紋筋・心筋・平滑筋の特徴 • 収縮のしくみ 9. 運動 <ul style="list-style-type: none"> • 筋神経支配，興奮の伝達 • 運動の調節と反射 • 錐体路・錐体外路 10. 感覚 <ul style="list-style-type: none"> • 聴覚・平衡感覚 • 視覚 • 味覚 • 痛覚・皮膚感覚 		<ul style="list-style-type: none"> • プリントを基に，スライドにて講義を進め，問題演習を行う。 • プリントのノート欄に適宜メモをとること。 • 授業内容の予習・復習に，オンデマンド生理学動画（Google classroom）を積極的に使用して理解を深めること。 	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に，出席状況，授業態度，課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 教科書：生理学（医歯薬出版） 適宜プリントを配布する。		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容 大学附属鍼灸センター2年，介護施設2年，開業（出張）2年（以上兼務） 本校附属鍼灸院4年				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 病理学		講師名 増田由紀子		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2年・通年	60時間・2単位・30回		講義・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	疾病の概念を明らかにするため疾病の原因・各種の疾患の基礎知識を習得させる			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な知識をしっかりと記憶し、応用できる。 2. 履修範囲の演習問題に積極的に取り組み授業での答え合わせまでに用意できる。 3. 国家試験レベルの問題が解ける。 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	1章 病理学とは 2章 疾病の一般 3章 細胞障害 4章 循環障害 5章 進行性病変 6章 炎症 7章 免疫 8章 腫瘍 9章 先天異常 10章 病因		教科書をわかりやすく要約したプリントを使用して講義を行う。 →要点のまとめプリント（書き込み式）を課題として行わせ、授業で答え合わせをする。 →演習問題（国試の傾向に沿った実践練習）を課題として行わせ、授業で答え合わせをする。	
成績評価の方法 定期試験		テキスト・教材・参考書 病理学概論（医歯薬出版） オリジナルプリント		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 臨床医学総論 I		講師名 佐々木香奈	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
1 年次・通年	60 時間／2 単位／30 回	講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	医療面接技法、診察法、症候を把握し、患者を理解し、正しく診断して適切な医療行為を行なえるようにする。		
目標	1. 疾病の判断 2. 鍼灸治療の適切 3. 不適応の判断 を行なえる知識を身に付ける		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1. 医療面接の進め方や方法 2. 生命徴候 3. 全身診察 4. 局所診察 5. 神経系診察 6. 運動系診察 7. 臨床検査 について鍼灸行為を行なっていく上で必要な技能を身に付ける。	<input type="checkbox"/> プリントを使用して講義を行なう。 <input type="checkbox"/> 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法 定期試験の成績を最重視し、レポート等による総合評価		テキスト・教材・参考書 臨床医学総論、作成したプリント	
担当教員の実務経験の有無 有 ・ 無			
実務経験の内容 北東北東洋医療専門学校、盛岡看護医療大学校の附属鍼灸院で23年間勤務した経験有り。			

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 臨床医学総論Ⅱ		講師名 佐々木 香奈		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2年次・前期	30時間／1単位／15回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	医療面接技法、診察法、症候を把握し、患者を理解し、正しく診断して適切な医療行為を行なえるようにする。			
目標	1. 疾病の判断 2. 鍼灸治療の適切 3. 不適応の判断 を行なえる知識を身に付ける			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	1. 医療面接の進め方や方法 2. 生命徴候 3. 全身診察 4. 局所診察 5. 神経系診察 6. 運動系診察 7. 臨床検査 について鍼灸行為を行なっていく上で必要な技能を身に付ける。		<input type="checkbox"/> プリントを使用して講義を行なう。 <input type="checkbox"/> 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法 定期試験の成績を最重視し、レポート等による総合評価		テキスト・教材・参考書 臨床医学総論、作成したプリント		
担当教員の実務経験の有無		有	・ 無	
実務経験の内容 北東北東洋医療専門学校、盛岡看護医療大学校の附属鍼灸院で23年間勤務した経験有り。				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野
科目名 臨床医学各論 I		講師名 佐々木 香奈	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2 年次・通年	60 時間／2 単位／30 回	講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	鍼灸臨床の現場で見られる疾患を中心に、原因、疫学傾向、症状、治療、予防等を現代医学的見地から総合的に理解することを目的とする。		
目標	代表的疾患に関する知識を身に着け、患者の診察や治療の際の注意事項を理解し、適切に対処できるようにする。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	臨床医学各論の各章より 1. 感染症 2. 整形外科疾患 3. 小児疾患 4. 外科疾患 5. 麻酔 6. 婦人科疾患 7. 皮膚疾患 8. 眼科・耳鼻科疾患 9. 精神・心療内科 について学ぶ。	<input type="checkbox"/> プリントを使用して講義を行なう。 <input type="checkbox"/> 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法 定期試験の成績を最重視し、レポート等による総合評価		テキスト・教材・参考書 臨床医学総論、臨床医学各論、作成したプリント	
担当教員の実務経験の有無 有 ・ 無			
実務経験の内容 北東北東洋医療専門学校、盛岡看護医療大学校の附属鍼灸院で23年間勤務した経験有り。			

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 臨床医学各論Ⅱ		講師名 加納 舞		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2年次・通年	60時間／2単位／30回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	鍼灸臨床の現場で見られる疾患を中心に、原因、疫学傾向、症状、治療、予防等を現代医学的見地から総合的に理解することを目的とする。			
目標	代表的な疾患の原因、疫学傾向、症状、治療、予防等について総合的に理解することができる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	11. 臨床医学を学ぶ意義 12. 消化器疾患（第2章） 口腔疾患，胃・大腸疾患，腹膜疾患 13. 代謝疾患（第7章） 糖尿病，脂質異常症，痛風，その他代謝異常 14. 肝胆膵疾患（第3章） 肝臓疾患，胆道・胆嚢疾患，膵臓疾患 15. 循環器疾患（第9章） 心不全，不整脈・血圧異常，冠動脈疾患， 動脈・静脈疾患 16. 血液・造血器疾患（第10章） 赤血球疾患，白血球疾患，出血素因 17. 膠原病・リウマチ疾患（第12章） 膠原病，リウマチ性疾患，線維筋痛症		<ul style="list-style-type: none"> • プリントを基に，スライドにて講義を進める。 • プリントのノート欄に適宜メモをとること。 	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に，出席状況，授業態度，課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 教科書：臨床医学各論（医歯薬出版） 参考書：病気がみえる（メディックメディア） 適宜プリントを配布する。		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容 大学附属鍼灸センター2年，介護施設2年，開業（出張）2年（以上兼務） 本校附属鍼灸院4年				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸		学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 臨床医学各論Ⅲ			講師名 加納 舞		
年次・開講時期		時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2年次・通年		60時間／2単位／30回		講義・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	鍼灸臨床の現場で見られる疾患を中心に、原因、疫学傾向、症状、治療、予防等を現代医学的見地から総合的に理解することを目的とする。				
目標	代表的な疾患の原因、疫学傾向、症状、治療、予防等について総合的に理解することができる。				
授業内容	教育内容			教育方法・留意点	
	18. 臨床医学を学ぶ意義 19. 呼吸器疾患（第4章） 感染性疾患，閉塞性疾患，拘束性疾患，腫瘍 その他の呼吸器疾患 20. 内分泌疾患（第6章） 下垂体疾患，甲状腺疾患，副腎疾患 その他の疾患 21. 腎・尿器疾患（第5章） 糸球体疾患，腎不全，感染性疾患，腫瘍 結石・前立腺疾患，子宮・卵巣疾患 22. 神経疾患（第11章） 脳血管疾患，感染性疾患，腫瘍，変性疾患 認知症，筋・運動ニューロン障害，神経痛 末梢神経障害，機能的疾患			<ul style="list-style-type: none"> プリントを基に，スライドにて講義を進める。 プリントのノート欄に適宜メモをとること。 	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に，出席状況，授業態度，課題を加味して評価する。			テキスト・教材・参考書 教科書：臨床医学各論（医歯薬出版） 参考書：病気がみえる（メディックメディア） 適宜プリントを配布する。		
担当教員の実務経験の有無			有 ・ 無		
実務経験の内容 大学附属鍼灸センター2年，介護施設2年，開業（出張）2年（以上兼務） 本校附属鍼灸院4年					

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 リハビリテーション医学		講師名 佐々木 香奈		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2 年次・後期	30 時間／1 単位／15 回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	医療的、教育的、社会的、職業的分野からリハビリとはどういうものを学ぶ。 総論的分野から入り、後半は各疾患に対するリハビリを学ぶ。			
目標	リハビリが必要な患者に対し適切な評価、リハビリの指導が行えるようになってもらう。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<p>1. リハビリ医学の総論としてリハビリの概要障害の種類、障害の捉え方と分類、四肢の計測とROM、MMTと運動の協調性テスト、ADL評価・廃用症候群、小児運動発達テスト、心理テスト、理学療法、作業療法、装具と杖歩行について学ぶ。</p> <p>2. 各論として各疾患（脳卒中、脊髄損傷、切断、脳性麻痺、整形疾患、心肺疾患、関節リウマチ、パーキンソン病など）のリハビリ内容、進め方を学ぶ。</p>		<p><input type="checkbox"/>プリントを使用して講義を行なう。</p> <p><input type="checkbox"/>授業の始めに小テストを行なう。</p>	
成績評価の方法 定期試験の成績を最重視して評価する。		テキスト・教材・参考書 リハビリテーション医学教科書、作成したプリント		
担当教員の実務経験の有無		有	・	無
実務経験の内容 北東北東洋医療専門学校、盛岡看護医療大学校の附属鍼灸院で23年間勤務した経験有り。				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 衛生学・公衆衛生学		講師名 田沢光正		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1 年次・通年	60／2／30		講義・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	人間集団を対象とする生態系を含めた健康や疾病について、その健康増進や予防について理解できる。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療人としての衛生学・公衆衛生学の基本的知識と方法論を習得する。 2. 個人および集団の健康レベルと疾病予防に寄与できる。 3. 患者および他の医療従事者とコミュニケーションが十分にとれる。 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生の概念と歴史および健康の概念について学ぶ。 2. 心身の健康を保持・増進するための基本的知識と方法論を習得する。 3. 国・地方公共団体などの責任によって進められる保健行政（地域保健、学校保健、産業保健、環境）や衛生統計について学ぶ。 4. 疫学的手法を学び、個人および集団に健康の寄与できる基本知識と意欲を身につける。 		講義	
成績評価の方法 定期試験の成績により評価する		テキスト・教材・参考書 衛生学・公衆衛生学 改定第6版 （南江堂） 講師が配布する「まとめ」と「練習問題」		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 医療概論		講師名 佐々木 香奈		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1 年次・前期後半	1 5 時間・1 単位・8 回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	医学史は除き、現代の医療制度（医療従事者、医療施設、国民医療費、医療保険介護保険）等を学び、医療従事者としての医の倫理を学ぶ。			
目標	施術者としての胃の倫理を理解する。 現代の医療制度（医療従事者、医療施設、国民医療費、医療保険介護保険）等について理解する。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	1. 現代の医療制度（医療従事者、医療施設、国民医療費、医療保険介護保険） 2. 医療従事者としての医の倫理		<input type="checkbox"/> プリントを使用して講義を行なう。 <input type="checkbox"/> 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法 定期試験の成績を最重視して評価する。		テキスト・教材・参考書 医療概論、社会あはき学、作成したプリント		
担当教員の実務経験の有無		有	・	無
実務経験の内容 北東北東洋医療専門学校、盛岡看護医療大学校の附属鍼灸院で2 3 年間勤務した経験有り。				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 社会保障制度と職業倫理		講師名 加納 舞		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
3年次・後期	15時間／1単位／8回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> • 世界と我が国の社会保障制度を理解し、はり師きゅう師に必要な実務を習得することを目的とする。 • 医療人及びはり師きゅう師としての社会的役割を理解し、職業倫理を身に付けることを目的とする。 			
目標	<p>我が国の社会保障制度について説明できる。</p> <p>はり師きゅう師として我が国の福祉介護サービスにおける役割について説明できる。</p> <p>医療人、はり師きゅう師の職業倫理について自分の意見を述べるができる。</p>			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<p>23. 世界及び日本における社会保障制度の歴史、社会保障制度の概念、対象、種類（法律、サービス等）について。</p> <p>24. 地域包括ケアシステムについて理解し、はり師きゅう師の役割を考える。</p> <p>25. 我が国の医療・福祉現場における問題点とはり師きゅう師の役割について。</p> <p>26. 医療人およびはり師きゅう師としての心得、職業倫理について、グループワーク中心に、様々な考え方・幅広い視野を持てるよう学びを深める。</p>		<ul style="list-style-type: none"> • プリントを基に、スライドにて講義を進め、問題演習を行う。 • グループワークおよびレポート課題も評価の対象とする。 • 定期試験は1回のみであることに注意すること。 • Google classroom 授業へ補足資料、オンデマンド動画を提供する。積極的に使用して理解を深めること。 	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 参考書：社会あはき学、関係法規（医道の日本社）実習の手引き2022版（臨床実習Ⅲ・福祉）適宜プリントを配布する。		
担当教員の実務経験の有無		有	無	
実務経験の内容 大学附属鍼灸センター2年、介護施設2年、開業（出張）2年（以上兼務） 本校附属鍼灸院4年				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 東洋医学概論 I		講師名 土屋 幸久		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1 年次・前期	60 時間／2 単位／30 回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	精、気、血、津液の特徴を理解し、弁証論治の基礎を身につける。 陰陽、五行の考え方を身につける。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 陰陽学説、五行学説、蔵象を用いた分類ができる。 2. 東洋医学的な特徴を踏まえた病因病機の分類ができる 3. 精、気、血、津液の特徴を説明できる。 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	1 回・オリエンテーション（授業について） <ul style="list-style-type: none"> ・基礎理論（東洋医学の特徴） ・基礎理論（陰陽学説） ・基礎理論（五行学説） ・基礎理論（精・気・血・津液） ・基礎理論まとめ ・東洋医学の疾病感（病因病機分類と特徴） ・六淫の特徴 ・七情の特徴 ・蔵象の基礎（特徴） 		講義	
成績評価の方法 試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する		テキスト・教材・参考書 東洋医学概論		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 東洋医学概論Ⅱ		講師名 土屋 幸久		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1 年次・後期	30 時間／1 単位／15 回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	東洋医学的な臓腑の考え方を身に着ける。 臓腑の病態を鑑別する能力を身に着ける。 東洋医学的に病気を分類し、治法を導き出す力を身に着ける。			
目標	1. 臓腑の特徴とその病態を説明できる。 2. 弁証論治に必要な情報を理解できる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋医学の基礎（陰陽五行、気血津液）復習 ・ 蔵象について（臓腑と相互関係） ・ 気血津液の相互関係 ・ 臓、腑、奇恒の腑の分類 ・ 肝、胆の特徴と病証 ・ 心、小腸の特徴と分類 ・ 脾、胃の特徴と病証 ・ 肺、大腸の特徴と病証 ・ 腎、膀胱の特徴と病証 ・ 心包、三焦の特徴と病証 ・ 複合病証 ・ 病証の種類と特徴 			
成績評価の方法 試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する		テキスト・教材・参考書 新版 東洋医学概論		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 東洋医学概論Ⅲ		講師名 土屋 幸久		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2年次・通年	60時間／2単位／30回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	四診（望診、聞診、問診、切診）の内容を理解し、東洋医学的な医療面接が可能な能力を身に着ける。 患者の病態にあった治法を選択できる力を身に着ける			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 四診について説明できる。 2. 四診（医療面接）で得た情報を東洋医学的に分類できる。 3. 各弁証と病態に対する治法を説明できる。 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四診について ・ 色体表復習 ・ 望診の内容 ・ 舌診 ・ 聞診の内容 ・ 問診の内容 ・ 切診について ・ 脈診の種類と脈状の特徴 ・ 難経六十九難の使い方と配穴 ・ 治法 ・ 刺法の種類と内容 ・ 弁証の種類と特徴 			
成績評価の方法 試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する		テキスト・教材・参考書 東洋医学概論		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 経絡経穴概論 I		講師名 堀 優貴		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1年次・通年	60時間／2単位／30回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	鍼灸施術に特有な経絡および経穴の働き・意義・効果を理解し、東洋医学及び西洋医学両面から経穴の部位を修得することを目的とする。			
目標	経穴の意義を理解し、正しく取穴ができ、臨床に応用できる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経穴経絡の基礎、要穴について、十二経脈、奇経八脈 ・ 経穴の取得方法、解剖学的部位の把握 ・ 経穴の臨床的意義 		プリントを基に、講義を進める。	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 経絡経穴概論（医道の日本社） 適宜プリント配付		
担当教員の実務経験の有無		⑦	・	無
実務経験の内容 京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 京都府内鍼灸院にて2年間臨床経験有り。				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 経絡経穴概論Ⅱ		講師名 堀 優貴		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1年・後期	30時間／1単位／15回		講義・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	鍼灸施術に特有な経絡および経穴の働き・意義・効果を理解し、東洋医学及び西洋医学両面から経穴の部位を修得することを目的とする。			
目標	経穴の意義を理解し、正しく取穴ができ、臨床に応用できる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経穴経絡の基礎、要穴について、十二経脈、奇経八脈 ・ 経穴の取得方法、解剖学的部位の把握 ・ 経穴の臨床的意義 		プリントを基に、実習・演習を進める。	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 経絡経穴概論（医道の日本社） 経穴経絡経穴概論Ⅰで配布したプリント 適宜プリント配付		
担当教員の実務経験の有無		⑦ ・ 無		
実務経験の内容 京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 京都府内鍼灸院にて2年間臨床経験有り。				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 経絡経穴概論Ⅲ		講師名 設楽 雄介		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2 年次 前期	30 時間／1 単位／15 回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	1 年次に修得した経穴について、鍼灸治療の基本となる経絡経穴の意義と経絡流注および経穴の部位と作用、各経絡相続の経穴の名称および部位について支配神経や筋肉を含めて学習する。			
目標	経穴の意義を理解し、臨床上応用することができる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の下記項目を学ぶ。 ・正経十二経脈 流注、要穴意義含む ・奇経八脈 ・奇穴、特定穴 		教科書を元にすすめる。	
成績評価の方法 試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する		テキスト・教材・参考書 東洋医学臨床論、東洋医学概論、経絡経穴概論 配布資料		
担当教員の実務経験の有無		(有) ・ 無		
実務経験の内容 教員養成施設附属施術所 2 年、鍼灸接骨院 2 年（以上兼務） 開業 2 年、本校付属鍼灸院 10 年				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 経絡経穴概論Ⅳ	講師名 柿坂 昌美		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3 年次・通年	60 時間／1 単位／30 回	講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	経絡の流注や、経穴の性質などを再度確認し、臨床に役立ち国家試験にも対応できる知識を身に付ける。		
目標	1. 各章の重要ポイントを国家試験に対応した演習問題を解くことができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	1. 総合演習問題（1）、解答 2. 総合演習問題（2）、解答 3. 総合演習問題（3）、解答 4. 総合演習問題（4）、解答 5. 骨度法 6. 骨度法、要穴表 7. 骨度法、要穴表演習問題、中間試験対策 8. 前期中間試験復習、解説 9. 督脈 10. 任脈 11. 手の太陰肺経、手の陽明大腸経 12. 足の陽明胃経 13. 足の太陰脾経、手の少陰心経 14. 手の太陽小腸経、足の太陽膀胱経 15. 前期期末試験対策 16. 前期期末試験解説 17. 足の少陰腎経、手の厥陰心包経 18. 手の少陽三焦経 19. 足の少陽胆経 20. 足の厥陰肝経 21. 奇経八脈、奇穴 22. 胸腹部の経穴（横並び） 23. 上背腰臀部の経穴（横並び） 24. 演習問題、まとめ 25. 演習問題、まとめ 26. 演習問題、まとめ 27. 演習問題、まとめ 28. 演習問題、まとめ 29. 演習問題、まとめ 30. 演習問題、まとめ		
成績評価の方法 定期試験	テキスト・教材・参考書 新版 経絡経穴概論（第2版）まとめプリント 演習問題プリント		
担当教員の実務経験の有無	有 ・ 無		
実務経験の内容			

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 はりきゅう理論 I		講師名 堀 優貴		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1年・後期	30時間／1単位／15回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	鍼術灸術の基礎知識、術式、臨床応用、リスク管理について正しく理解することを目的とする。 鍼灸治療の治効機序・治効理論・関連学説について生理学的な知識と結びつけ理解することを目的とする。			
目標	1. 鍼術・灸術の基礎知識、術式、臨床応用、リスク管理について正しく理解し説明できる。 2. 鍼灸の治効機序・治効理論・関連学説について説明することができる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	鍼術・灸術の基礎知識、術式、臨床応用、リスク管理、鍼灸治療の治効機序・治効理論・関連学説について講義を行う。		教科書をもとにプリントを用いて講義を行う。	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する		テキスト・教材・参考書 はりきゅう理論（医歯薬出版） 適宜プリントを配付する。		
担当教員の実務経験の有無		①	・	無
実務経験の内容 京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 京都府内鍼灸院にて2年間臨床経験有り。				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 はりきゅう理論Ⅱ		講師名 堀 優貴		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
3年・通年	60時間／2単位／30回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	鍼術灸術の基礎知識、術式、臨床応用、リスク管理について正しく理解し、国家試験レベルの知識を習得することを目的とする。 鍼灸治療の治効機序・治効理論・関連学説について生理学的な知識を結びつけ理解し、国家試験レベルの知識を習得することを目的とする。			
目標	1. 鍼術・灸術の基礎知識、術式、臨床応用、リスク管理について正しく理解する。 2. 鍼灸治療の治効機序・治効理論・関連学説について正しく理解する。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鍼術灸術の基礎知識、術式、臨床応用、リスク管理について、教科書をもとにプリントを用いて講義・演習を行う。 ・ 鍼灸治療の治効機序・治効理論・関連学説について、教科書をもとにプリントを用いて講義・演習を行う。 		教科書を基に必要なに応じてプリントを利用して講義・演習を行う。	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 はりきゅう理論（医歯薬出版） 適宜プリントを配付する。		
担当教員の実務経験の有無		①	・ 無	
実務経験の内容 京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 京都府内鍼灸院にて2年間臨床経験有り。				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 東洋医学臨床論 I		講師名 土屋 幸久		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2 年次・通年	30 時間／2 単位／15 回		講義・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	臓腑ごとに関連の深い疾患について鑑別し、説明することができる。 鍼術、灸術の基礎を身につける。			
目標	1. 鍼術、灸術の種類や特徴を説明できる。 2. 臓腑に関連する病証を理解し、証を立てることができる。 3. 証に対する治法、選穴を選ぶことができる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鍼について ・ 灸について ・ 臓腑に関連する疾患について 肝に関連する疾患 心に関連する疾患 脾に関連する疾患 肺に関連する疾患 腎に関連する疾患 複合病証 ・ 			
成績評価の方法 試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する		テキスト・教材・参考書 東洋医学臨床論、東洋医学概論、経絡経穴概論 配布資料		
担当教員の実務経験の有無 有 ・ 無				
実務経験の内容				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 東洋医学臨床論Ⅲ		講師名 土屋 幸久		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法		
3年次・通年	60時間／2単位／30回	講義・実技・実習・演習		
授業概要 (目的)	国家試験の出題傾向を学び、疾患の鑑別、病態に対する説明をすることができる。 患者の状態の病態把握をし、疾患に適した治法、選穴ができる力を身につける			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 疾患の病態把握をし、病証を示すことができる 2. 疾患に対しての治法、配穴を確定することができる 3. 疾患に対し現代医学的視点、東洋医学的視点から説明することができる。 			
授業内容	教育内容	教育方法・留意点		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臓腑に関連疾患の病態把握と鑑別 肝に関連する疾患 心に関連する疾患 脾に関連する疾患 肺に関連する疾患 腎に関連する疾患 複合病証 ・ 経絡関連疾患の病態把握と鑑別 ・ 各疾患に対する鍼灸施術 ・ 各疾患に対する配穴 ・ 国家試験問題の分析（解き方と考え方） 			
成績評価の方法 試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する		テキスト・教材・参考書 東洋医学臨床論、東洋医学概論、経絡経穴概論 授業内配布資料		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 病態生理学		講師名 加納 舞		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
3年次・後期	30時間／1単位／15回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	臨床で観察される神経・筋疾患，腎・尿器疾患，感覚器疾患，代謝疾患，精神疾患の病状を例に発生機序と身体変化を検討する。			
目標	患者が示す病状や所見から，機能低下をきたす仕組み、原因を考察し，説明できる。病態の知識をいかして，鍼灸臨床に応用することができる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	27. 神経・筋疾患の病態生理 28. 神経・筋疾患の鍼灸臨床 29. 腎・尿器疾患の病態生理 30. 腎・尿器疾患の鍼灸臨床 31. 感覚器疾患の病態生理 32. 感覚器疾患の鍼灸臨床 33. 代謝疾患の病態生理 34. 代謝疾患の鍼灸臨床 35. 精神疾患の病態生理 36. 精神疾患の鍼灸臨床		<ul style="list-style-type: none"> • プリントを基に，スライドにて講義を進め，問題演習を行う。 • プリントのノート欄に適宜メモをとること。 • Google classroom 授業へ補足資料，オンデマンド動画を提供する。積極的に使用して理解を深めること。 	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に，出席状況，授業態度，課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 教科書：解剖学，生理学，臨床医学各論（医歯薬出版） 東洋医学臨床論（南江堂） 適宜プリントを配布する。		
担当教員の実務経験の有無		有	無	
実務経験の内容 大学附属鍼灸センター2年，介護施設2年，開業（出張）2年（以上兼務） 本校附属鍼灸院4年				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸		学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 あはき適応の判断			講師名 加納 舞		
年次・開講時期		時間数/単位数/授業回数		教育方法	
3年次・後期		30時間/1単位/15回		講義・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	鍼灸臨床で遭遇する疾患について業務範囲内・外を適切に判断し、対応できることを目的とする。				
目標	患者が示す病状や所見から、病態を把握できる。 患者の病態について、業務範囲内・外を判断し、適切な対応ができる。				
授業内容	教育内容			教育方法・留意点	
	37. 循環系疾患の病態と鍼灸適否 38. 循環系疾患の鍼灸臨床 39. 呼吸器疾患の病態と鍼灸適否 40. 呼吸器疾患の鍼灸臨床 41. 血液疾患の病態と鍼灸適否 42. 血液疾患の鍼灸臨床 43. 内分泌疾患の病態と鍼灸適否 44. 内分泌疾患の鍼灸臨床 45. リウマチ疾患の病態と鍼灸適否 46. リウマチ疾患の鍼灸臨床			<ul style="list-style-type: none"> プリントを基に、スライドにて講義を進め、問題演習を行う。 プリントのノート欄に適宜メモをとること。 Google classroom 授業へ補足資料、オンデマンド動画を提供する。積極的に使用して理解を深めること。 	
成績評価の方法 定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。			テキスト・教材・参考書 教科書：解剖学、生理学、臨床医学各論（医歯薬出版） 東洋医学臨床論（南江堂） 適宜プリントを配布する。		
担当教員の実務経験の有無			有 ・ 無		
実務経験の内容 大学附属鍼灸センター2年、介護施設2年、開業（出張）2年（以上兼務） 本校附属鍼灸院4年					

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 関係法規 I		講師名 佐々木 香奈		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2 年次・後期後半	1 5 時間・1 単位・8 回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	法とは何かを理解し、はり師きゅう師の関係法規、患者の権利、リスク管理、医療事故と医療過誤について理解させることを目的とする。			
目標	はり師きゅう師に必要な法規を理解し、適切な運用ができるレベルに達する。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<p>あはき師に関する法律、その他の医事法規について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法の体制・業とは・資格要件 2. 鍼灸の免許について 3. 国家試験について 4. 鍼灸の業務について 5. 鍼灸師の罰則について 6. 各種届出について 		<input type="checkbox"/> プリントを使用して講義を行なう。 <input type="checkbox"/> 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法 定期試験の成績を最重視して評価する。		テキスト・教材・参考書 関係法規、医療概論、作成したプリント		
担当教員の実務経験の有無		有	・ 無	
実務経験の内容 北東北東洋医療専門学校、盛岡看護医療大学校の附属鍼灸院で 2 3 年間勤務した経験有り。				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 関係法規Ⅱ		講師名 佐々木 香奈		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
3年次・後期後半	15時間・1単位・8回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	法とは何かを理解し、はり師きゅう師の関係法規、患者の権利、リスク管理、医療事故と医療過誤について理解させることを目的とする。			
目標	はり師きゅう師に必要な法規を理解し、適切な運用ができるレベルに達する。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	あはき師に関する法律、その他の医事法規について学ぶ。 1. 法の体制・業とは・資格要件 2. 鍼灸の免許について 3. 国家試験について 4. 鍼灸の業務について 5. 鍼灸師の罰則について 6. 各種届出について		<input type="checkbox"/> プリントを使用して講義を行なう。 <input type="checkbox"/> 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法 定期試験の成績を最重視して評価する。		テキスト・教材・参考書 関係法規、医療概論、作成したプリント		
担当教員の実務経験の有無		有	・ 無	
実務経験の内容 北東北東洋医療専門学校、盛岡看護医療大学校の附属鍼灸院で23年間勤務した経験有り。				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 はり実技		講師名 堀 優貴		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1年生・通年	90時間／3単位／45回		講義・ 実技 ・実習・演習	
授業概要 (目的)	安全性と衛生操作を理解した基礎的な鍼の操作方法を修得し、的確な人体への刺鍼技能の習得を目的とする。			
目標	安全で衛生的な人体への刺鍼ができる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・はり施術上の注意事項、消毒法 ・鍼の基礎実技 (片手挿管、管鍼法、旋撚刺法・送り込み刺法、水平刺・直刺・斜刺) ・人体への刺鍼 (下腿、上肢、腰背部、肩背部、頭部、顔面部) ・特殊鍼法 (灸頭鍼、鍼通電療法) 		<ul style="list-style-type: none"> ・教材を参考に実技をおこなう。 ・人体への刺鍼を行うことから、細心の注意を払い集中して授業をうけること。 	
成績評価の方法 実技試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 はりきゅう実技（基礎編）：(医道の日本社) 経絡経穴概論：(医道の日本社)		
担当教員の実務経験の有無		⑦	・ 無	
実務経験の内容 京都府内大学附属鍼灸センターにて5年間の臨床経験あり。 京都府内鍼灸院にて2年間臨床経験有り。				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 きゅう実技		講師名 設楽 雄介		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
1年生・通年	90時間／3単位／45回		講義・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	灸施術での危険性を理解し、安全かつ基本的な対人施灸技能の習得を目的とする。			
目標	経穴を取穴し、人体への一点連続施灸／二点三壮施灸ができる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	①灸の歴史、材料、製法、効果の基礎知識と消毒、消火、廃棄など安全な取り扱い方法を学ぶ。 ②経穴部位を教科書で確認し筋、腱、神経等を把握、取穴練習を反復。(前腕、下腿、腰背部主要穴) ③人体への連続施灸 及び 二点三壮施灸練習を反復。 ④特殊灸法 (棒灸、塩灸など)		・実技デモンストレーション後、各ペアで実技練習。巡回による指導を行う。 ・人体への施灸を行うことから、火傷を中心に細心の注意を払い集中して授業をうける。	
成績評価の方法 実技試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 はりきゅう実技 (基礎編) : (医道の日本社) 経絡経穴概論 : (医道の日本社)		
担当教員の実務経験の有無		(有) ・ 無		
実務経験の内容 教員養成施設附属施術所2年、鍼灸接骨院2年 (以上兼務) 開業2年、本校付属鍼灸院10年				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 はりきゅう実技 I		講師名 土屋 幸久		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2 年次 通年	90 時間／3 単位／45 回		講義 ・ 実技 ・実習・演習	
授業概要 (目的)	鍼灸の技術をもって各疾患の治療方針、治療方法を学び、治療ができるようになる。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各臓腑の病証を鑑別できる。 2. 各疾患に適した治法を選ぶことができる。 3. 各疾患に対する配穴を選ぶことができる。 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	オリエンテーション 鍼の基礎知識 灸の基礎知識 鍼の手技 灸の種類 臓腑に対する鍼灸治療 経脈に対する鍼灸治療 外邪に対する鍼灸治療 特殊鍼法		・前期 週1回, 後期 週2回となることに留意すること。	
成績評価の方法 試験の結果を主に, 出席状況, 授業態度, 課題を加味して評価する		テキスト・教材・参考書 東洋医学概論、経絡経穴概論、東洋医学臨床論		
担当教員の実務経験の有無		有	・ 無	
実務経験の内容 東京医療専門学校附属鍼灸院（代々木院）にて2年の臨床経験あり、訪問鍼灸師として2年の臨床経験あり、盛岡医療大学校附属鍼灸院（盛医鍼灸院）にて6年の臨床経験あり				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸		学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 はりきゅう実技Ⅱ			講師名 加納 舞		
年次・開講時期		時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2年次・通年		90時間／3単位／45回		講義・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	運動器・神経疾患の病態把握，検査法，治療法について習熟し，臨床現場で応用できる技術の習得を目指す。				
目標	運動器・神経疾患の病態理解，検査法，病態把握，治療の実技が総合的に行える。				
授業内容	教育内容			教育方法・留意点	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体刺鍼におけるリスクマネジメント 2. 腰部疾患の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 3. 頸部疾患の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 4. 肩関節疾患の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 5. 膝関節疾患の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 6. 股関節疾患の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 7. 胸郭出口症候群の検査・鍼灸治療 8. 神経絞扼障害の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 9. 手・肘関節疾患の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 10. 頭痛の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 11. 三叉神経痛の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 12. PHNの病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 13. 顔面神経麻痺の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 14. 顎関節症の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 15. パーキンソン病の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 16. 慢性痛症の病態生理・病態把握・検査・鍼灸治療 			<ul style="list-style-type: none"> • 病態生理・病態把握については，プリントを中心に，基礎知識を習得する。 • 検査法・鍼灸治療の実際については実演を供覧した後，ペアでの練習を行う。 • 前期は週2回，後期は週1回となることに留意すること。 	
成績評価の方法 試験の結果を主に，出席状況，授業態度，課題を加味して評価する。			テキスト・教材・参考書 適宜プリントを配布する。		
担当教員の実務経験の有無			有 ・ 無		
実務経験の内容 大学附属鍼灸センター2年，介護施設2年，開業（出張）2年（以上兼務） 本校附属鍼灸院4年					

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 はりきゅう実技Ⅲ		講師名 佐々木 香奈		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法		
3年次・通年	60時間／2単位／30回	講義・実技・実習・演習		
授業概要 (目的)	認定実技審査（検査法、鍼灸実技、東洋系口頭試問、経穴取穴）に合格するための技術の習得を目指す。 臨床現場で応用できる鍼灸治療の習得を目指す。			
目標	検査法、鍼灸実技、東洋系口頭試問、経穴取穴が総合的にできる。 各疾患について鍼灸を使い治療ができる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	1. 検査法の復習 2. 鍼灸実技の復習 3. 口頭試問・経穴取穴の復習 4. 模擬カルテを使っての各疾患への治療		<input type="checkbox"/> 認定実技の評価に基づいて進める。 <input type="checkbox"/> 前期は認定実技審査をメインに授業を進める。 <input type="checkbox"/> 後期は模擬カルテをメインに授業を進める。	
成績評価の方法 認定実技審査の概要に基づいた評価 実技試験に基づいた評価		テキスト・教材・参考書 認定実技審査の概要に従う 各疾患のプリントを配布する		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容 北東北東洋医療専門学校、盛岡看護医療大学校の附属鍼灸院で23年間勤務した経験有り。				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 臨床実習前施術実技		講師名 設楽 雄介		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2 年次 後期	30 時間／1 単位／15 回		講義・ 実技 ・実習・演習	
授業概要 (目的)	臨床で使用する診察方法を身につける。			
目標	1. 各診察技術の意義を理解する。 2. 各診察技術を習得し、実施できるようにする。 3. 患者説明を行えるようにする。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・フィジカルアセスメント概論 ・バイタルサイン、全身観察 ・聴診、触診、打診、触覚検査、反射、徒手筋力検査、ROM測定 ・感覚検査、神経系アセスメント ・東洋医学的アセスメント ・まとめ 		プリントを元にすすめる。	
成績評価の方法 試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する		テキスト・教材・参考書 東洋医学臨床論、東洋医学概論、経絡経穴概論 配布資料		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容 教員養成施設附属施術所 2 年、鍼灸接骨院 2 年（以上兼務） 開業 2 年、本校付属鍼灸院 10 年				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 臨床実習 I		講師名 加納 舞, 設楽 雄介		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法		
1 年次・前期	4 5 時間／ 1 単位／ 2 3 回	講義・実技・ 実習 ・演習		
授業概要 (目的)	医療人としての適切な倫理観と態度および, 安全な鍼灸臨床に必要な知識を習得し, 臨床にいかせる能力を身につける.			
目標	1. 鍼灸師の役割と自分自身を知ること, 将来に向けた展望を計画できる. 2.			
授業内容	教育内容	教育方法・留意点		
	○加納担当 <ul style="list-style-type: none"> 鍼灸 (東洋医学) を学ぶということ 鍼灸師を知る・自分を知る 鍼灸師に求められる役割とは キャリアビジョンの作成 ○設楽担当 <ul style="list-style-type: none"> 体表観察 取穴指標となる筋骨の触察と描出 	○加納担当 <ul style="list-style-type: none"> 学びの手引きに沿って, 講義・演習・実習にて実施する. 欠席した者はレポート提出の権利を失うため注意すること. ○設楽担当 <ul style="list-style-type: none"> 同上とする. 		
成績評価の方法 出席状況, 授業および実習参加態度, 授業レポート, ディスカッション・カンファレンスへの参加姿勢から総合的に判断する.		テキスト・教材・参考書 ○加納担当: 学びの手引き (2023年度版) ○設楽担当: 解剖学, 手引き・臨床実習日誌		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容 加納: 大学附属鍼灸センター 2 年, 介護施設 2 年, 開業 (出張) 2 年 (以上兼務) 本校附属鍼灸院 4 年 設楽: 教員養成施設附属施術所 2 年, 鍼灸接骨院 2 年 (以上兼務) 開業 2 年, 本校付属鍼灸院 10 年				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸 学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 臨床実習Ⅱ	講師名 加納 舞		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
2年次・後期	45時間／1単位／23回	講義・実技・ 実習 ・演習	
授業概要 (目的)	医療人としての適切な倫理観と態度および、安全な鍼灸臨床に必要な知識を習得し、臨床にいかせる能力を身につける。		
目標	医療人として必要な基本姿勢・態度を身につける。 患者・家族との信頼関係を構築し、診断・治療に必要な情報が得られるような医療面接を実施できる。 チーム医療や法規との関連で重要な医療記録を適切に作成し、管理することができる。 診療計画（診断、治療、患者・家族への説明を含む。）を作成できる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	47. 鍼灸師に必要な臨床能力とは 48. 医療面接 コミュニケーション技法, 医療面接の目的 医学的情報の収集, 医療面接の流れ, 東洋医学的問診 49. 臨床推論 臨床的考察法, 仮説演繹法, レッドフラッグの判断 情報整理, 鑑別診断 50. 症候別 臨床推論 51. 診療録 (カルテ) 診療録の意義, 問題志向型 (POS) 診療録の作成 医療連携と紹介状 52. 症例報告 症例報告の意義, 症例報告の作成	<ul style="list-style-type: none"> • 実習の手引きに沿って, 講義・演習・実習にて実施する. • 欠席した者はレポート提出の権利を失うため注意すること. 	
成績評価の方法		テキスト・教材・参考書	
出席状況, 授業および実習参加態度, 授業レポート, ディスカッション・カンファレンスへの参加姿勢から総合的に判断する。		実習の手引き (2023版) 適宜プリントを配布する。	
担当教員の実務経験の有無 有 ・ 無			
実務経験の内容 大学附属鍼灸センター2年, 介護施設2年, 開業 (出張) 2年 (以上兼務) 本校附属鍼灸院4年			

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 臨床実習Ⅲ		講師名 加納 舞, 設楽 雄介		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
2年次・前期	45時間／1単位／30回		講義・実技・ 実習 ・演習	
授業概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉施設の見学を通して、介護サービスの実際を理解する。 ・スポーツ現場で鍼灸師の選手対応を見学し有資格者トレーナー活動を理解する。 ・福祉及びスポーツの現場で、鍼灸師としてどんな対応をすべきか考えられる。 			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護福祉施設の見学を通して、介護サービスの実際を理解する。 2. スポーツ現場を見学し、有資格者トレーナー活動を理解する。 3. 福祉及びスポーツの現場で、鍼灸師としての対応について考えることができる。 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<p>【福祉実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の理解, 認知症の理解 ・コミュニケーション技法 ・身体介助の実際 (移動, 移乗, 更衣介助等) ・高齢者鍼灸の理論と臨床 ・介護保険サービス施設の見学 ・学びのまとめと発表 <p>【スポーツ実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のプロスポーツ組織と構造 ・スポーツ身体能力評価 ・スポーツ障害、注意すべき疾患 ・キネシオテーピング実習 ・試合現場でのサポート実習 ・学びのまとめと発表 		<ul style="list-style-type: none"> ・実習の手引きに沿って、講義・演習・実習にて実施する。 ・欠席した者はレポート提出の権利を失うため注意すること。 	
成績評価の方法 出席状況, 授業および実習参加態度, 授業レポート, ディスカッション・カンファレンスへの参加姿勢から総合的に判断する。		テキスト・教材・参考書 ○福祉実習：実習の手引き (2023 年度版) ○スポーツ実習：実習の手引き (2023 年度版)		
担当教員の実務経験の有無		有	・ 無	
実務経験の内容 加納：大学附属鍼灸センター 2 年, 介護施設 2 年, 開業 (出張) 2 年 (以上兼務) 本校附属鍼灸院 4 年 設楽：教員養成施設附属施術所 2 年, 鍼灸接骨院 2 年 (以上兼務) 開業 2 年, 本校附属鍼灸院 10 年				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 臨床実習Ⅳ		講師名 土屋 幸久		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
3 年次・前期	4 5 時間／1 単位／2 3 回		講義 ・ 実技 ・ 実習 ・演習	
授業概要 (目的)	臨床現場での適切な患者対応を身に着ける。 医療面接で必要な情報を聴きとることができる。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者とコミュニケーションをとり、スムーズな医療面接ができる。 2. 疾患を診断、鑑別し治療方針の確定ができる。 3. 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション（実習Ⅳについて） ・医療面接練習 ・実技練習 ・盛医鍼灸院実習（10回） ・実習用資料作成（1回） ・お礼状作成（1回） ・外部実習について オリエンテーション 注意点・心構え ・セクハラ・パワハラ（ハラスメント）について（1回） ・外部実習（2回） 			
成績評価の方法 提出物、出席状況、授業態度を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 臨床医学総論、臨床医学各論、東洋医学概論、東洋医学臨床論、経絡経穴概論		
担当教員の実務経験の有無		有	・ 無	
実務経験の内容 東京医療専門学校附属鍼灸院（代々木院）にて2年の臨床経験あり、訪問鍼灸師として2年の臨床経験あり、盛岡医療大学校附属鍼灸院（盛医鍼灸院）にて6年の臨床経験あり				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 特別講義 I		講師名 設楽 雄介		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
3 年次 前期	3 0 時間／ 1 単位／ 1 5 回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	1・2年次で学習した臨床医学各論の内容を復習し，国家試験問題に備えられることを目的とする			
目標	疾病の成り立ちおよび機序を理解し，基礎的な問題に取り組むことができる． 主要な疾患について説明することができる。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	感染症疾患，運動器疾患について講義形式で実施する。教科書を補足するプリントを作成して配付する。 加えて問題演習を行う。		教科書を元にすすめる。	
成績評価の方法 試験の結果を主に，出席状況，授業態度，課題を加味して評価する		テキスト・教材・参考書 東洋医学臨床論、東洋医学概論、経絡経穴概論 配布資料		
担当教員の実務経験の有無		(有) ・ 無		
実務経験の内容 教員養成施設附属施術所 2 年、鍼灸接骨院 2 年（以上兼務） 開業 2 年、本校付属鍼灸院 1 0 年				

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸 学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 特別講義Ⅱ		講師名 柿坂 昌美	
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数	教育方法	
3年次・後期	30時間／1単位／15回	講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	国家試験に対応できる知識を身に付ける。		
目標	各章の重要ポイントを国家試験に対応した演習問題を解くことができる。		
授業内容	教育内容	教育方法・留意点	
	プリントを使用したまとめ授業 国家試験問題を中心に練習問題を実施し 解説を行う。		
成績評価の方法 定期試験	テキスト・教材・参考書 衛生学・公衆衛生 まとめプリント 演習問題プリント		
担当教員の実務経験の有無	有	・	無
実務経験の内容			

シラバス

【令和5年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	<input type="checkbox"/> 専門分野
科目名 特別講義Ⅲ		講師名 加納 舞		
年次・開講時期	時間数/単位数/授業回数	教育方法		
3年次・前期	30時間/1単位/15回	<input type="checkbox"/> 講義・実技・実習・演習		
授業概要 (目的)	疾病の概念を明らかにするため、疾病の原因と細胞の変化など病理の基礎を理解することを目的とする。			
目標	疾病の成り立ちおよび機序を理解し、説明することができる。 病理学各論について、主要な疾患の概要を説明することができる。			
授業内容	教育内容	教育方法・留意点		
	53. 病理学とは 54. 疾病の分類 55. 病因 56. 循環障害 57. 退行性病変 58. 進行性病変 59. 炎症 60. 腫瘍 61. 免疫異常・アレルギー 62. 先天性異常	<ul style="list-style-type: none"> • プリントを基に、スライドにて講義を進め、問題演習を行う。 • プリントのノート欄に適宜メモをとること。 • Google classroom 授業へ補足資料、オンデマンド動画を提供する。積極的に使用して理解を深めること。 		
成績評価の方法 定期試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する。		テキスト・教材・参考書 教科書：病理学（医歯薬出版） 適宜プリントを配布する。		
担当教員の実務経験の有無		<input checked="" type="checkbox"/>	・	無
実務経験の内容 大学附属鍼灸センター2年、介護施設2年、開業（出張）2年（以上兼務） 本校附属鍼灸院4年				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 総合医学特論 I		講師名 佐々木 香奈		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
3 年次・通年	60 時間・2 単位・30 回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	臨床医学総論、リハビリテーション医学、臨床医学各論、生理学を総復習し、さらに関連する科目を強化し、国家試験や臨床の場で対応できる力を身に付ける。			
目標	最後の確認テストでその日の内容を完璧に覚えてもらう。 その繰り返しを行ない関連付けてトータルの問題が解けるようにする。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	各章ごとに 1. 前週の内容から小テスト 2. 始めの四択問題 3. まとめプリント 4. 復習・確認・暗記時間 5. 確認テスト		<input type="checkbox"/> プリントを使用して講義を行なう。 <input type="checkbox"/> 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法 定期試験の成績を最重視し評価する。		テキスト・教材・参考書 臨床医学総論、リハビリテーション医学、臨床医学各論、生理学、作成したプリント		
担当教員の実務経験の有無		有	・ 無	
実務経験の内容 北東北東洋医療専門学校、盛岡看護医療大学校の附属鍼灸院で 23 年間勤務した経験有り。				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 総合医学特論Ⅱ		講師名 佐々木 香奈		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
3年次・前期	30時間・1単位・15回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	臨床医学総論、リハビリテーション医学、臨床医学各論、生理学を総復習し、さらに関連する科目を強化し、国家試験や臨床の場で対応できる力を身に付ける。			
目標	最後の確認テストでその日の内容を完璧に覚えてもらう。 その繰り返しを行ない関連付けてトータル的に問題が解けるようにする。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	各章ごとに 1. 前週の内容から小テスト 2. 始めの四択問題 3. まとめプリント 4. 復習・確認・暗記時間 5. 確認テスト		<input type="checkbox"/> プリントを使用して講義を行なう。 <input type="checkbox"/> 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法 定期試験の成績を最重視し評価する。		テキスト・教材・参考書 臨床医学総論、リハビリテーション医学、臨床医学各論、生理学、作成したプリント		
担当教員の実務経験の有無		有	・ 無	
実務経験の内容 北東北東洋医療専門学校、盛岡看護医療大学校の附属鍼灸院で23年間勤務した経験有り。				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 総合医学特論Ⅲ		講師名 佐々木 香奈		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
3年次・後期	30時間・1単位・15回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	臨床医学総論、リハビリテーション医学、臨床医学各論、生理学を総復習し、さらに関連する科目を強化し、国家試験や臨床の場で対応できる力を身に付ける。			
目標	最後の確認テストでその日の内容を完璧に覚えてもらう。 その繰り返しを行ない関連付けてトータルの問題が解けるようにする。			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	各章ごとに 1. 前週の内容から小テスト 2. 始めの四択問題 3. まとめプリント 4. 復習・確認・暗記時間 5. 確認テスト		<input type="checkbox"/> プリントを使用して講義を行なう。 <input type="checkbox"/> 授業の始めに小テストを行なう。	
成績評価の方法 定期試験の成績を最重視し評価する。		テキスト・教材・参考書 臨床医学総論、リハビリテーション医学、臨床医学各論、生理学、作成したプリント		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容 北東北東洋医療専門学校、盛岡看護医療大学校の附属鍼灸院で23年間勤務した経験有り。				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 東洋医学特論 I		講師名 土屋 幸久		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
3 年次	60 時間／2 単位／30 回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋医学の基礎（陰陽五行論、気血津液、蔵象）を説明できる。 ・ 国家試験に準じた問題を解き、解説することができる。 ・ 最近の国家試験の出題に準じた言い回しに対応することができる。 			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 問題の解答を導き出し、解説することができる。 2. 用語に対し、別の表現での出題に対応することができる。 3. 1, 2 年次の内容を理解し、説明することができる。 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東洋医学概論総復習 1章 東洋医学の特徴 2章 生理と病理 3章 東洋医学の思想 4章 四診 5章 弁証論治 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国家試験問題演習と解説 			
成績評価の方法 試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する		テキスト・教材・参考書 東洋医学概論 復習用 資料配布		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容				

シラバス

【令和 5 年度】

盛岡医療大学校

鍼灸	学科	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
科目名 東洋医学特論Ⅱ		講師名 土屋 幸久		
年次・開講時期	時間数／単位数／授業回数		教育方法	
3年次・後期	30時間／1単位／15回		講義 ・実技・実習・演習	
授業概要 (目的)	東洋医学概論の出題傾向を理解し、国家試験に合格する力を身につける。 患者との医療面接で東洋医学的な質問を的確にできる力を身につける。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 四診の内容を理解し、説明することができる。 2. 患者の病態を東洋医学的に説明することができる。 3. 			
授業内容	教育内容		教育方法・留意点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四診について 望診 聞診 問診 切診 ・ 舌診の詳細 ・ 脈診の詳細 ・ 気血津液弁証 ・ 臓腑弁証 ・ 経脈弁証 ・ 六経弁証 ・ その他の弁証 ・ 治法 ・ 刺法 ・ 国家試験過去問題 			
成績評価の方法 試験の結果を主に、出席状況、授業態度、課題を加味して評価する		テキスト・教材・参考書 東洋医学概論 授業内配布資料		
担当教員の実務経験の有無		有 ・ 無		
実務経験の内容				

